

7月28日(水) Zoom Webinarで開催した『第4回リカジョ育成賞贈呈式』にて各賞が決定しました。

リカジョ育成賞グランプリ 賞状・トロフィー・副賞 20万円

北九州市立大学 国際環境工学部

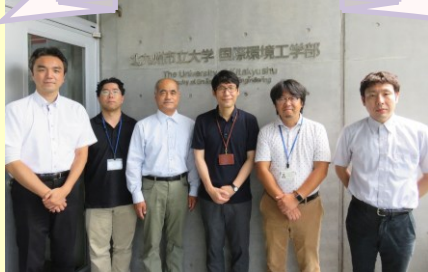
「世界に羽ばたけ! 北九州サイエンスガールプロジェクト」

＜受賞コメント＞ この度は、第4回リカジョ育成賞グランプリという栄誉ある賞をいただき、まことにありがとうございます。このような機会を与えてくださった日産財団の皆様、選考委員の先生方に感謝申し上げます。

この活動はJSTの支援を受け、地域の女子中高生の理系進路選択を支援することを目指して2019年度から開始しました。当初は中学校への出張講義や実験体験など対面企画を中心にしていたのですが、2020年初からのコロナ禍で、YouTubeやPR冊子などオンライン環境での広報・成果の普及活動にも力を入れました。こうした対面・オンライン両方での活動を評価いただけたことを嬉しく思っております。

現在はウイズコロナの中で、対面企画とオンライン広報を併用して活動しております。こうした活動を通して、一人でも理系に興味を持つ生徒が増えてくれたらと願っております。

最後に、共に活動してきた、北九州市教育委員会・女性活躍推進課・連携企業の皆様、大学生・大学院生、中学校・高校の先生方、参加者の皆様に感謝申し上げます。



↑プロジェクトメンバー(上写真)
北九州市立大学 国際環境工学部 准教授 木原隆典氏
と選考委員による当日の質疑応答の様子(下写真)

準グランプリ 賞状・トロフィー・副賞 10万円

輝けミライの私! 山陰ガールズプロジェクト



↑プロジェクトのメンバー(国立米子工業高等専門学校 他)



学校法人ノートルダム清心学園 清心中学校清心女子高等学校



↑研究開発部長 田中福人氏(右)による成果発表(左)

＜講評＞

公益財団法人日産財団 第4回リカジョ育成賞の選定について

選考委員長 長谷部 伸治



公益財団法人日産財団では、女子児童・生徒の理科への興味・関心を高める活動の中で、特に優れた成果を残した個人または団体を対象に、「リカジョ育成賞」を授与している。

本年度は、2020年5月25日から2021年1月17日までの公募期間に、21件の申請があり、その中から5月に開催した本財団選考委員会において、第4回リカジョ育成賞グランプリ候補3件を選定した。そして、2021年7月28日グランプリ候補3件の成果発表を受けて、1件をリカジョ育成賞グランプリに、2件を同準グランプリに選定した。また、優れた成果を収めたと認められる7件の応募を、奨励賞に選定した。

COVID-19の影響で、長期に渡り対外活動が制約されている。応募・受賞された皆様には、このような状況を克服するための様々な工夫をして活動を継続されるとともに、その工夫・成果を広く社会に発信していただくことを期待する。

【第4回リカジョ育成賞 グランプリ 1件】

北九州市立大学 国際環境工学部：市内・近隣の女子中高生を対象に、学校への出張講義や実験体験、講演会等を通じて地域の理系女子の育成を図る取り組みであり、イベント回数や参加人数の多い点を含め、高く評価できる。ホームページやPR冊子も洗練されており、またYouTubeチャンネルやInstagramを開設して動画配信を行うなど、取り組みに対する意欲が感じられる。生徒の理系への興味の有無や、対面・オンラインのケース別の今後の活動計画も明確であり、継続した活動の更なる進化を期待する。

【第4回リカジョ育成賞 準グランプリ 2件】

輝けミライの私! 山陰ガールズプロジェクト：2高専と大学が共同して地域の理系女子を支援する取り組みであり、実験講座や女性研究者の講演会等、充実した内容である。特に、母校中学校で講演を行う取り組みや、リカジョ支援学生チームを結成しての活動など、運営に携わった女子学生の成長も期待できる取り組みになっている点を評価する。JST採択プログラムとしての活動終了後も、効果の高い企画は是非継続して実施していただきたい。

学校法人ノートルダム清心学園 清心中学校清心女子高等学校：様々な地域を巻き込んだ研究発表交流会を企画・実施するという活動を、10年以上継続している点を高く評価する。「理系女子育成を図る取り組み」をマネジメントする「取り組み」であり、この取り組みにより女子生徒が自ら研究する機会やその成果を発表する機会が増え、リカジョの増加に大きく寄与していると推察する。今後も、これまでの培った人的ネットワークを生かし、より活発な活動の継続を期待する。

SPECIAL CONTENT

リカジョ育成フォーラム(贈呈式 第3部)

10代女子の「誰かの役に立ちたい」から始まる科学教育というテーマで、本賞の過去受賞者による基調講演とライブでのQ&Aセッションを行いました。
日本科学未来館 宮原 裕美 様(左写真、第1回準グランプリ)
福島市立吾妻中学校 教諭 菅野 俊幸 様(右写真、第1回グランプリ)



PICK UP!

今回は、本賞をご後援下さる内閣府より男女共同参画局長 林伴子様にご来臨賜り力強いメッセージを頂きました。

